

1991年9月3日

第三種郵便物承認

毎月(1・2・3

・4

・5

・6

・7

・8

・9

・10

・11

・12

発行



ある福祉制度の中の事業所が撤退されることにより、袖へ紹介され、利用を始められた方がおられる。

引き継ぎの紹介の時の話では、症状やこれまでの経緯の話で、生活環境の話は一切なかった。訪問ヘルパーも導入されていて、安心して通所、社会参加、生活リズムを作ることが、こちらに要求されているサービスであると共有した。

本人はとても穏やかなご性格で、博学で、今年3月8日、国連が定めた国際女性デー(女性の解放と平和な社会の建設のための国際的な記念日)に女性にミモザの花を贈る習慣があると聞いたことがあったが、その日、その方は来所するなり玄関で、私にミモザの小さな花束をくださった。その後も外出することに大変なエネルギーが必要な方で、安定した通所にはならないが、時々来所されると、ご自身からいろんな話をしてくださるようになる。

ある日携帯の写真を見せてくださった。それは、ご自宅の写真で、とても人が生活してる空間とは思えないもので、今までもゴミ屋敷と化したエアコンも壊れたままの嵐が去った後のような室内、うず高く積まれたゴミで床が全く見えない状況から、本人、医療機関、生活保護課と連携しながら生活改善のお手伝いをさせて頂いたことがあるが、今回見せていただいた写真は、天井は空が見えていて雨が落ちてくるため、床が腐って畳も溶け落ちていた。まるで外で生活しているような環境であった。家賃も払い、制度も利用し、ヘルパーも訪問しているのに、不衛生で危険な環境で生活されていることに目を疑った。エアコンも壊れているらしく、まだまだ寒い日が続いていた。本人に関わりのある相談支援事業所に電話し、何故この状況が改善されないのか伺うが、これまでもヘルパーが少しずつ片付けて、以前よりは、かなり改善されていったとのこと。他市であるし、関わり続けている居宅支援の事業所、生活保護課、障害福祉課もあるため、関わり始めたばかりの袖が、あまりでしゃばるのも良くないため、一度本人の了解のもと、相談支援事業所のスタッフと訪問させて頂いた。居宅支援の事業所も来て欲しいと願いますが叶わなかった。2階建ての長屋で1階は、畳が溶け崩れ落ち、玄関から、まるで綱渡りのように慎重に歩かなければお風呂場、トイレへは行けない。2階は空が見え、二間のうち一間は、足を踏み入れるのも床が落ちる危険性が高く、使えない状況であった。本人は夜、ウイスキーをストレートで飲まれているが、決してアルコール依存症ではなく、「夜寒くて眠れないからアルコールで体を温めている」とのこと。頂いた電気毛布をもらって頂くと、「昨日は、ゆっくり眠れました!」と、とても喜んでおられた。本人が安全に安心して眠れるスペースは、玄関から上がった半畳ほどのスペースのみ。相談支援員さんと、どんなに説得しても本人が色々な理由をつけて引越しが具体化しない。日本国憲法の第25条に『すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する』とあるが、全く守られていない。他市の障害福祉課の本人の担当者に電話して、本人、生活保護課、障害福祉課、相談支援事業所、居宅支援事業所と、袖でカンファレンスの場を持ってはどうかと提案するが、「その必要はない。本人が引越したいと言わない。ヘルパーを入れて最大限に“配慮”している。」と言いつつ放った。開いた口が塞がらなかった。状況を全て知っているの返答である。

確かに本人が拒否していることを強制的にこちらが良かれと思う支援を、押し付けることは出来ないわかっている。しかし相手は精神障がいを持っている、病気ゆえに不安、健常者や権力に対する恐怖心もあると思われる。いかに本人に寄り添い、長く付き合い続けることが大切かと思われる。一資源でサポートするのが難しい事例ではあるが、障害福祉課、生活保護課、医療機関、居宅サービス、日中の生活支援が、本人を中心として連携することで、少しずつ安心・信頼を得ることで変わっていくことはあると思われる。私が言うことは綺麗事で偽善と思う人もいるかもしれない。確かにできることには限界・スキル不足がある。だからこそ関わる機関が、それぞれの専門性を、経験・権限を、最大限に活用し連携していく中で協力し、失敗しても次へのノウハウとして継承し、技術を向上させていくことが義務であると考えます。

作業所のねこ & ノラねこ展

2022年4月21日(木)～24日(日)まで、新世界にあるギャラリー1616で『作業所のねこ&ノラねこ展』を開催しました。昨年までは、ROJI ギャラリー1616を含めた2カ所でしたが、コロナウイルスの感染を考慮して、ギャラリー1616のみでの開催にしました。

今回、1カ所だけでしたが、来場されたお客様とゆっくり会話ができ、また、新企画にも楽しんで頂きました。今年も来場されたお客様には、感染対策をご協力して頂き、4日間を無事に終える事ができました。この4日間で168名の来場と手作り商品の売上が71,320円あり、この写真展に足をお運び頂き、誠にありがとうございました。



今回の初展は3回も入らせてもらいました。
1日は初日もあってお客様の入りもよく、盛況でした。
2日目は雨もあって少く私自身体調も悪くなり
早退させてもらいました。
3日目は最終日遅く入り、帰りの片付けもして、帰り
車乗せてもらいました。全体的好評で寄りも良く嬉しく
思いました。来年来たら来たいです。 ミーミル

<新企画 クイズコーナー>

写真の中にねこが
います。
さて、どこにいてるで
しょう??

わかりやすいのから、わかりにくいまで、どこにねこ
がいるか探してもらいましたにゃ。
正解者には、駄菓子の詰合わせをプレゼントさせて頂き
ましたにゃ。



私は初めてネコ展に参加したのですが、雨にも関わ
らずお方々から色々打方がいらして来ました。
中には写真が沢山飾られていて色々好表情のネコ
やネコグッズを見たり楽しめました。
貴重な時間も過ぎて頂きました。 ひろりん

コロナ禍の中たくさんの方々に来ていただき
とても嬉しかったです。
又自分が作った作品が売れたこともとても
嬉しかったです。
又、ネコ展来年やりたいです。 (K.H)



K.Hさんが作ったお地藏様

ある日のにゃんごさん

私の朝のルーティンは尚太郎(尚ちゃん)のおしりマッサージから始まります。

朝来ると尚ちゃんは「ニャー」と高い声で鳴き、私が手をねまをするたびにジーンと見て、いきなり良くジャンプしてきます。ガラステーブルに、そして横向きになり尚ちゃんがマッサージしろと言わんばかりの目をしています。そして叩くとしっぽを振り振りとして、強弱つけながら、リズムよく叩くと、頭を腕に寄り寄せてスリスリしています。とても「可愛いなあ」と思いました。叩いてあげると尚ちゃんも喜んでいそいで、やっとういふ顔をしています。

ミーミル

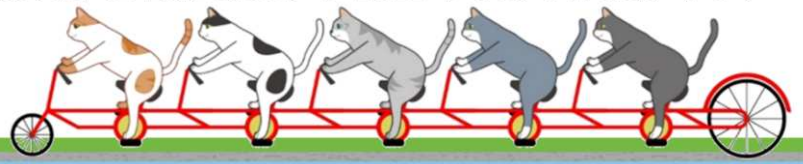


ある日のお昼ご飯

毎日、日替わりメニュー1食300円もしくは、200円(値段の違いは、主菜の量の違いです)で、緋のメンバーさんに栄養バランスの良い昼食を作っています。似たようなメニューにならないよう、和洋中のお料理で定番から、初挑戦まで、今日は何かなと楽しみにしてもらいながら、毎日作っています。(夏本番、冷たいうどんやお蕎麦もメニューにあがっています。)

| | | | |
|--|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・鶏そぼろと山芋のぶっかけそば ・なめこの味噌汁 ・温泉卵 | | <ul style="list-style-type: none"> ・鶏むね肉と夏野菜のぶっかけうどん ・温泉卵 ・ご飯 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・親子丼 ・きゅうりと竹輪の和え物 ・薄揚げとわかめの味噌汁 | | <ul style="list-style-type: none"> ・トマトとオクラの豚冷しゃぶサラダ ・冷奴 ・味噌汁 ・ご飯 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ベーコンと玉ねぎのトマトパスタ ・サラダ ・パン | | <ul style="list-style-type: none"> ・麻婆豆腐 ・きゅうりともやしのだんご ・わかめの中華スープ ・味噌汁 |

プチ旅日記



今年も、4 月に大阪市の恵美須町にある、通天閣の近くにあるギャラリー1616 さんで開催させて頂きました。今回は、メンバーさんが書いてくださった詩や、リアルな犬や猫の刺繍の作品、4 コマ漫画、クイズコーナー(遠くから撮った写真で、『ねこがどこにいます?クイズ』正解者には駄菓子の詰め合わせ)がありました。たくさんの方に来て頂き、クイズのプレゼントの駄菓子を見て喜ばれ、また親子で一緒に楽しんでもらえてとても嬉しかったです。来年もまたお会いできるのを楽しみにしております。

ねこ展を開催している時のお話です。以前、スタッフのキャンディさんが昔に、キューピット(カルピスとコーラを混ぜた飲み物)という信じられない飲み物があったということで、探しに行こうと話をしていました。

新世界の方に行けば、古くからやっている喫茶店がありそうということで、キャンディさんと一緒にまずは喫茶店探しに。コーラとカルピス両方置いてあるお店がなく、何軒か見て、置いてあるお店を見つけました。

お話を聞くと、親子で営業されているお店で、僕が生まれる前からされているそうです(僕は31歳です)。

さっそく注文しようと思いましたが、メニューにはキューピットはありません!

お店の娘さんに、キューピットの事を聞きますが、何それ?('д')といった顔。

隣の席の方が、知っていそうな反応をしていたので、お母さんの方に聞くと、「昔はあった」との事です。僕とキャンディさんは、キューピットがあるかないかの予想をしていて、僕はないと思っていました。予想はずれてしまい、お会計は僕が支払う事になりました……。

ここからはメンバーさん聞いたお話です。

お酒が好きな方で、よく友達と飲まれているそうです。

色んな地元の美味しい料理のお店を知っていておられ、僕が気になっていたけど入った事の無いお店の話などをして下さいます。

山の方の神社から夕陽を見たり、お友達の家でバーベキューをしたり。気のおけない友人がいればスーパーでお惣菜とビールを買って行き、川辺で日没を見ながらとても贅沢な時間に思えました。コロナ禍でもそういう楽しみ方があるんだと知る事ができました。

これからのプチ旅日記は、メンバーさん達からお聞きしたお話なんかも書けたら良いなと思っています。(てんてん)

《 ご寄付・賛助会費のお礼 》

沢山の方よりご寄付、賛助会費、お花、季節の旬のお野菜、メロン、紫蘇ジュース、機関誌用のイラストを頂き、誠にありがとうございました。皆様の温かいお気持ちを頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。メンバーさんの支援の為、必要な物や法人の活動の為に、大切に使用させていただきます。

法人が設立して8年が経ちました。地域の方に温かく見守られながら、メンバーさんの夢や希望を実現していく場所を守り、さらなる事業を発展させていく為にも、まだまだ資金が不足しています。

今後とも皆様の温かい、ご支援とお力添えを頂けますようよろしくお願い申し上げます。

- ご寄付、賛助会費を頂いた方：高岡 敦 様、田中 誠太 様、仲川 真紀 様、甫田 知彩樹 様、森崎 慶子 様、吉永 いち 様
医療法人清心会 地域活動支援センターちのくらぶ 様

- 匿名にて、ご寄付、賛助会費を頂いた方：20名

- わらび、ふき：福田 瑠美子 様

七夕お茶会

7月7日(木)に紬で、七夕お茶会をしました。今年の七夕は、久しぶりの晴れ、天の川が各地で見れたのでは、皆さん見られましたか？

七夕お茶会に参加されなかった方も、作業の合間に短冊に願いを書いて、その日は、七夕の雰囲気でした。作業が終わったら、近くの和菓子屋さんで買った夏らしい水まんじゅうとお茶を頂きました。



いつもだったら、ねこ達も笹の葉を食べながら参加するのですが、今年は、造花ということもあり、ねこ達は食べれず、飾り付け用の紐に反応しました(笑)。来年も七夕お茶会ができますように。(ノリ緒) 笹の葉が食べれますように(ねこの願い)

『LITALICO りたりこ仕事ナビ』の紹介

働くことに障害のある方の就職支援サイト

りたりこ
LITALICO 仕事ナビ

♡ 気になる

トップ > 大阪府の就労継続支援B型事業所 > 八尾市の就労継続支援B型事業所 > 紬

ツムギ
紬

就労継続支援B型事業所

♡ 気になる



古民家で猫に囲まれながら「働くこと」への第一歩を一緒に始めませんか？

続きはサイトを見てね

🔍 リタリコ仕事ナビ 八尾市 B型 検索



紬には、ホームページがありますが、それとは別で、インターネット上で、紬についての情報を掲載している『LITALICO りたりこ仕事ナビ』というサイトがあります。ここでは、作業、イベント・バザー、就労支援等紬の活動や、職員とねこ紹介等色々掲載されています。

紬を紹介している所を一部載せてます。他にも様々な紹介があるので是非ご覧下さい。

● サポート内容

熱意のある医療福祉の専門職が在籍！



公認心理師や精神保健福祉士、介護福祉士など国家資格もった支援員が在籍しております！

福祉、心理の専門知識と、企業との連携を大切に、就労支援を長期で携わってきたからこそ就労に結びつく支援が可能。特に「精神障害」「発達障害」「高次脳機能障害」の支援は強みにしており、これまで多くの方をご支援させて頂きました。

また訪問相談支援も力をいれており「引きこもり」の方に向けたサポートも実施しております！

「こころ」と「からだ」に大切な「食事」



「食」は「心と身体の健康」を保つには非常に大切です。調理師免許を持っているスタッフもおり毎食、献立を考え、美味しく温かい手料理を振舞っています！

お昼は一食破格の200円、大盛の場合は300円

栄養バランスを考慮した献立作りをしています！通いながら生活リズムを整えていきたい方にも◎

苦手な食材や、アレルギーにも対応し、郷土料理や、世界の珍しい料理にもチャレンジしています。おたのしみにも！！

バザー・イベント予告

積極的に参加していたバザー・イベントでしたが、このコロナ禍で、ほとんどが開催出来なくなり、利用者さんからは、「大判焼きを焼きたいね～」とお声が上がっていました。

遂に待ちわびた朗報です。中止になっていたバザー・イベントが開催することになり、紬も、感染対策をしっかりと行いながら参加します。久しぶりのバザー・イベントを楽しみたいですね。

※コロナウィルスの感染状況により、内容が変更になる場合があります。

| 日時 | お祭り名 イベント名 | 場所 | 出店内容 | 紹介 |
|-----------------------------------|---------------------|---------------|-------------|--|
| 8/19(金) 17時～19時 (16時40分～受付) | 八障間 夏の夕べ 2022 | 八尾市立 安中小学校 | 射的 手芸品販売 | 地元中学校の吹奏楽部によるミニコンサート、夜店、障がい者事業所による模擬店があります。 |
| 9/11(日) 17時45分～ 20時30分 | 久宝寺寺内町 燈路まつり | まちなみ センター | 射的 手芸品販売 | 久宝寺寺内町に燈籠が設置されます。昔ながらの町並みが幻想的な雰囲気になります。(18時点灯) |
| 9/15(木) 10時～14時 | 手芸品販売 | 八尾市役所 地下1階 | 手芸品販売 | 八尾市障がい者作業所等連絡会の参加施設が手芸品等を販売します。9月は紬が担当です。 |

※変更等ありましたら、その都度、紬のホームページ(<https://lotus.nyanta.jp/>)に載せます。



おばちゃんPOWER

新たな社会財産を発掘か?!

「雨降ってまたから傘持って行きか
今から声を掛けられなくても怖くない。」

以前は人と接する機会も少なく、おばちゃんらを見かけても

(なんか大声で群れてこしゃべって怖い…)

と、なるべく避けて通り過ぎた。

きっかけは障がいをカミングアウトしたことだった。

「幻聴な〜…うちの姑もあつたわ。」

と、共感してくれ、たまにおばちゃんらの五十肩を心配してあげたり。

一歩さがって三歩突っ込んでくる。それはおばちゃんだからできるおせっかい。

ケースワーカーでもなく、ボランティアでもない。

「おばちゃん」というブリンクドは世界に誇れる新たな社会資源なのかもしれない。

1991年9月3日 第三種郵便物承認 毎月 (1・2・3・4・5・6・7・8・9の日) 発行
 発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪府大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階 定価10円

すごいゾ!大阪のおばちゃん おばちゃんやからできることがあるの巻

信楽の狸

編集後記

作業所で昨年、梅干しを漬けました。あまりに美味しいので、シソを天日干しにして、ふりかけにしようかと、ペランダで干していたら2回も雨で「シソ」ビショビショになり、3度目の正直でふりかけが出来、お昼に「ご飯にかけておかずがいらないくらい美味しいです!」
 (カニ味嗜河童)

昼食でカレーを作った時に、『凄く美味しかった。』『おかわりしたい』と言ってもらえてすごく嬉しかったです。(てんてん)

17歳と5歳のねこが家にいます。高齢ねこは、以前は、日向ぼっこが日課のねこでしたが、引越してして環境が変わり、良い刺激だったのか、今や元気!何がきっかけで変わるかわからないですね。(ノリ緒)



賛助会費、ご寄付振込み先
 お振込み先: ゆうちよ銀行
 座名: 特定非営利活動法人ロータス
 座番号: 00910-4-305976
 座店名: ○九九店(099)

編集人: NPO法人ロータス編集部 Yojoyo~Hands
 住所: 〒581-0072 大阪府八尾市久宝寺3-1-22
 TEL/FAX: 072-992-0225 (オーニャーニャンコ)
 メールアドレス: tsumugil210@abelia.ocn.ne.jp
 ホームページ: https://lotus.nyanta.jp/